

息の合ったコラボレーション



和と洋がみごとに融和された演奏

今月号の特集
公民館の文化祭

文化 なかの

中野市公民館報

2012 **12**
 No.93
(通巻 No.625)
 発行 中野市中央公民館
 編集 文化なかの編集委員会
 〒383-0025
 中野市三好町一丁目4番27号
 TEL 0269-22-2691
 FAX 0269-26-2342

中野市文化芸術協会40周年

10月27日(土) 市民会館で、中野市文化芸術協会40周年記念事業木村俊介コンサート「音象」が開催されました。
 木村さんは、佐渡の鼓童・伊那の田楽座・青森での津軽三味線の修行を経て、現在は国際的な楽器奏者(笛、津軽三味線他)として活躍中の方です。また作曲・編曲・舞台監督も手がけられ、加藤登紀子さんの娘、あいの『あいをよるおもいをつむぐ』の作曲や坂東玉三郎さん演出の鼓童『アマテラス』(京都南座・歌舞伎座他)に楽曲・詩を提供しています。
 中野市では、『中野市婦人のつどい』『中野市成人式』『北部公民館20周年記念事業』などに出演されています。
 また、文化庁からの依頼でアジア、ヨーロッパ、アメリカなどの音楽祭に招聘出演され国際的にも活躍されています。
 「人間関係の煩わしさがなく、尊敬するゲストを招いて自分の表現したい音楽で生活できる今、幸せです」と語る木村さん。これからの活躍にエールを送ります。

あおぞら

星空の眺めが楽しい季節となった。天頂に昇が閃々と輝き、それを追いかけてオリオンが昇ってくる。山の頂から鋭く光るシリウスを首星とする大犬が飛び出そうとしている。何億光年もの遠い星々が無数に存在する広大な宇宙。それらも、私達の体も全ての物質はヒッグス粒子が存在することで形作られているとされているが、今年の7月、ついにスイスにある欧州合同原子核研究所でその粒子の存在をほぼ確認した事が報じられた。宇宙誕生の謎を探る新しい時代だ。

なんでも、一周27kmの大型加速器で光速近くまで加速した陽子と陽子とを正面衝突させることでヒッグス粒子が一瞬姿を見せるとのことであるが、私には何のこともよくわからない。いま、全長約30kmの直線トンネルに超伝導の加速器とビーム制御装置を配置し、更に高精度な実験ができる装置を日本の北上山地か脊振山地に建設する案があるという。

それはそれでよいが、私にはギリシャ神話や伝説の星座の世界が何とも心地よい。古人の思いに触れた気になる。北西の空に北十字(白鳥座)が直立し、クリスマススの季節にふさわしい光景が展開する。

(千)

中央・北部・西部・豊田

今年で第8回の豊田公民館文化祭は「ふるさと豊田の∞(無限大)の可能性を呼び覚ませよう！」をスローガンに、10月26日(金)〜28(日)日の3日間開催しました。

作品発表展示会では、写真やタペストリーなど、新たに9つの団体及び個人の参加があり、にぎわいが増しました。油絵や写真、リースなど見ていて楽しく、自分も何かはじめてみたいという気持ちが湧いてきました。また、今年初参加の着物愛好会カトレアによる着付け教室では、参加者が実際に着付けてもらい、さらに立ち姿や髪型までも整えてもらっていました。



個人参加者も力作ぞろい！

音楽芸能発表会では、コーラス、ハワイアンフラ、今年初参加の豊井小学校コカリナクラブなど16団体が発表しました。豊田民踊

∞(無限大)の可能性を

未広がりにも未来へ！

豊田公民館

会、花房流藤華水恵会が舞踊を踊る姿は曲の情景が目には浮かぶようでした。後半は怒涛の和太鼓三連続で、豊田もみじ太鼓、豊田故郷太鼓、豊田公民館和太鼓教室の太鼓の音が腹にまで響き、心地よく体と心を震わせてくれました。そして中野市消防団音楽隊による素晴らしい演奏で最後を締めくくり、過去最高の盛り上がりで文化祭は幕を閉じました。



もみじ太鼓の勇壮な響き！

このような、素晴らしい文化祭となったのも、豊田地区で活動する個人や団体のチカラです。こうした活動が未広がりにも続いていくように、公民館は今頑張っている方々や、何かを始める方々をこれからも支えていきたいと思っています。



みんな一生懸命

中野市文化芸術協会が主催している中野市総合文化祭は、今年で40周年を迎えました。40周年記念事業、芸能祭、文化祭と3回にわたり文化芸術鑑賞を通し、多くの皆様に芸術の秋を楽しんでいただきました。

10月27日(土)に40周年記念事業「木村俊介コンサート音楽象」を開催し、笛、三味線、箏、バイオリン、パーカッションが紡ぎ出す音の世界を感じていただきました。10月28日(日)に「芸能祭」を開催し、芸能部門の22団体が、ダ

ンス、琴、三味線、民謡、舞踊など24演目を発表しました。子ども達のかわいいダンスや、大人の円熟された芸に会場から大きな拍手が送られていました。

11月10日(土)・11日(日)には、文化部門の11団体が「文化展」を開催しました。絵画、写真、華道、書道、短歌、俳句など249作品が中央公民館全館に展示され、鑑賞された方から感嘆の声がもれていました。また、中野華道会によるお茶のサーブスもあり、多くの来館者をもてなしました。



見事な華道展示に魅了

市民の手で創る芸術の秋

中央公民館

公民館の文化祭

地域文化の創造

北部公民館



藤沢勇選手のユニフォーム等の展示

北部公民館では、地域文化創造祭第26回文化祭を10月27日(土)・28日(日)に開催しました。27日は元中野市中央公民館長で現在は三重県に在住されている水谷正さんの講演会があり、中野市での公民館の思い出や現在おかれている公民館の課題などについてお話を聞きました。作品展では、平岡小学校児童や平岡地区のみなさんの作品をはじめ、北部公民館の講座やサークル活動でご利用いただいている皆さま



和太鼓 一道塾の演奏

の作品の展示、新井出身のロンドンオリンピック20km競歩で活躍された藤沢勇選手に関するユニフォームなどの展示もあり、大勢の市民が足を止めていました。28日は芸能祭がおこなわれ、合唱や大正琴などの演奏、長丘小学校児童の合唱とダンスの発表、高社中学校吹奏楽部の演奏、のぞみの郷高社のレクレーシヨンダンスの発表があり、最後に子ども達のパレエで会場が盛り上がり終了となりました。

集い・学び・交流

西部公民館



艶やかな琴と尺八の演奏

西部公民館は、11月10日(土)・11日(日)に第22回文化祭を開催しました。玄関では安源寺子ども会の皆さんが植えてくれた花や、片塩子ども会の皆さんが作ったガラスデコ作品が来館者をお迎えしました。作品展では地域の方や団体が作った陶芸、生け花、チョークアート等様々な作品の他に、高丘小学校、中野平中学校の生徒作品や、西部公民館主催の講座で作



とてもキュートなケイキ(子どもの)フラ

ったシャドーボックス、実木草くらふと、アロマクラフト、盆景等の作品が彩りを添えてくれました。11日の芸能祭では、琴や謡、フラダンス、パレエ、キッズダンスなど19団体の多彩な発表があり、日頃の成果を存分に発揮して大勢の来場者を楽しませています。また、点前茶席やアロマテラピー体験もあり、文化祭会場は大盛況でした。



色とりどりの作品たち

こんにちは分館

大熊公民館の1年間の行事を紹介し

ます。公民館事業は3月の敬老会から始まります。これは、大熊地区は菌茸類の栽培者が多いため例年この時期に行なっています。今年、市内の安藤さんご夫妻によるマジック(手品)ショーを楽しんだ後、懇親会で楽しいひと時を過ごしていただきました。また、一迎六送会では子ども達がゲームを楽しみました。一迎六送会は、毎年3月に小学校へ入学する新1年生を迎え、中学校へ入学する6年生を送る会

大熊分館

です。7月のシヨシヨ祭りには、区・育成会で毎年参加しています。特に当地区は、外国からの研修生が大勢住んでおられますので、合同で参加し今年も賞をいただきました。秋は、ハイキングや外国研修生との料理教室など行事は目白押しで、遊ぶことあり学ぶことあります。年明け早々には、児童参加のどんど焼き、そり大会等を計画しています。先月の文化なかのにも掲載されていましたが、児童の塾通いやスポーツクラブ等の活動に加え少子化により参加者が少なく、行事日程を決めるのも大変です。そして何よりも当役を決める場合に引き受け手がなく



安藤さんの見事なマジック

大変苦勞をしています。誰もが気持ちよく役を受けていただけますよう、組織の簡素化が図られることを望みます。(大熊分館長 金子 信満)

ふるさととの歴史

明治二二年四月延徳村が成立し、五小学校の名称も延徳小学校となった。本校は大熊竜水寺、支校は新保本光寺であったが「小学校令」が制定された二三年頃から新設校建設が話題となってきた。

二四年には更に關心

が高まり、大熊・新保の二校案。東西、南北とも僅少距離という理由から一校案。位置は浸水を考え小高い中央部分の恵比寿山か荒神山(現在地)、というようにしぼられてきた。

しかし、「小学校令」では教育費は主として、市町村の負担に委ねられて

延徳村の成立と小学校建設

おり、市町村にとって苦しい負担であった。そのため、延徳村の場合郡長の指導で一校、場所は村議会で決定、となった。

竜水寺と本光寺は学制以来、現在の延徳小学校の本流として常にその位置

にあった。これは近世末の松代藩時代寺子屋の本流としての竜水寺と、中野天領としての本光寺の流れからきているものである。

二五年三月の村議会では、本・支校が以前からあるので一校指定は反対と郡長に申出したが校数一つ、位置大字

三ツ和日向と県知事の許可済みという返答であった。八月の村議会で大激論の末、荒神山(三ツ和日向)へ建設がようやく決定した。

狭い高台を選んだ理由は、村民の結集した熱意がなかったためで、授業と衛生上の観点のみからの質素な校舎であった。

新保区への配慮・納得

という点から、冬季三カ月は本光寺に分教場設置、荒神山の地均しは大熊区の労力奉仕で、校舎建設の半額は大熊区で拠出、と大きな負担を地元にて建てることで背負わされた。

(松沢 邦男)

図書館まつり

文化講演会

10月28日(日)、中野市立図書館で「奇跡の連携!東日本大震災でのボランティアの動き」石巻での1年7ヶ月より」と題し、OPEN JAPAN共同代表の吉村誠司さんによる講演会がありました。



阪神淡路大震災で支援活動した経験から、各個人の得意技を生かして地元のニーズに応じたボランティアを行って、重機を使ったボランティアでは、津波によるがれきで神社への道がなくなり、大切なお祭りができないため、なにはさておき通れるようにして欲しいと頼まれたこと。何から始めて良いかも分からず茫然としていた人が、ボランティアの活動をみて一緒に仕事を始めるようになったこと。私たちが被災地に行つて、お土産を買ってくることも経済支援となるのだというお話がありました。

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
公民館央	中央公民館ギャラリー ちよっと前の中野写真展				
西部公民館	シニア大学	12月7日～3月1日 (各 金曜日) 午後1時30分～3時 (全11回)	西部公民館	大学教授の講座 や健康体操など 様々な講座を11 回にわたり行な います。	<参加費>無料 <持ち物>筆記用具 <その他>途中からの参加も可能 です。
	ものづくり講座	1月12日(土) 午前10時～正午	西部公民館 料理教室	長野県食生活 改善推進協議会 顧問 原 楫 先生	<定員>20名 <受講料>材料費300円 <持ち物>エプロン、三角巾、 マスク <申込み>12月6日(木)から
豊田公民館	ものづくり ～伝統のまゆ玉 づくり体験～	1月12日(土) 午前10時～正午	もみじ荘	信州中野 ふるさと交流団	<定員>40名 <材料費>100円 <入場料>無料 ※入浴の場合は実費 <持ち物>はさみ、お盆、エプロン

なかの21市民講座

東日本大震災や県北部大地震による災害、また温暖化に起因する集中豪雨
や土砂災害、竜巻など、気象にまつわる自然災害が日常的に発生しています。
いまこそ市民に防災減災の意識を高めて頂くために講演会を計画しました。

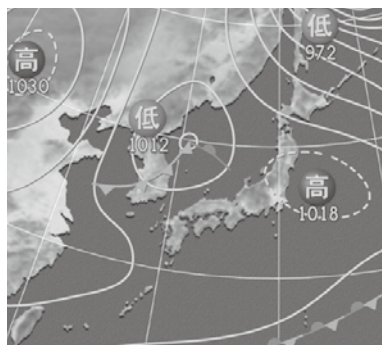
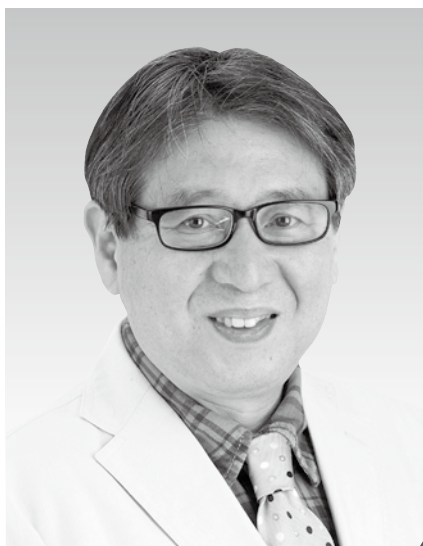
演題

「テレビでは言えない天気の話」

講師

森田 正光先生

お天気キャスター
気象予報士



プロフィール

1950年名古屋市生まれ。
財団法人日本気象協会を経て、1992
年初のフリーお天気キャスターとな
る。同年、民間の気象会社 株式会社
ウェザーマップ、2002年には気象予
報士受験スクール 株式会社クリアを
設立。
親しみやすいキャラクターと個性的
な気象解説で人気を集め、テレビや
ラジオ出演のほか全国で講演活動も
行っている。

入場無料

日時

平成25年
2月10日(日) 午後1時30分～3時

会場

**中野市中央公民館
3階講堂**

駐車場が狭いので、車の方はなるべく相乗りでお出かけください。

■問い合わせ先 中野市三好町一丁目4番27号 中央公民館 電話 0269-22-2691



ノスリ／柳沢(倉田昭平)



冬の晴れ間／一本木(月岡尚雄)



柿たちの冬／奥手山(小林照美)



落陽の落ち葉／小館(小林幸成)

花と季節の写真募集

宛先

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館

☎22・2691
Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限ります。四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

活動は西部公民館で月に二回、第一・第三の火曜日に、午後七時半から九時まで行なっていますので、興味のある方は是非越し下さいとのこと。



輝いています

的の中心に刺さった時は、とても爽快です。

からで良いとのこと

神経を集中して
的をめがけて、ひと吹き！
吹き矢は、精神統一やストレスの解消ができるスポーツと楽しんでおられるのは「中野吹き矢愛好会」の皆さんです。
直径13ミリ、長さ120センチの筒の先から重さ0.2グラムの矢が、一瞬にして10メートル先の的に突き刺さりまます。(初心者5メートル)